

# 船橋市立医療センターNews No.34

●発行年月日/平成29年10月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 丸山 尚嗣  
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>



「色鮮やかに咲くコスモス」 当院職員撮影



## 自治体立優良病院表彰を受けて

船橋市立医療センター院長 丸山 尚嗣

当院は、平成29年度の「自治体立優良病院」のひとつとして総務大臣より表彰されました（4ページに関連記事）。全国で約900に及ぶ自治体病院の中から、当院を含め5病院が選ばれたものです。この表彰は、経営の健全性が確保されており、地域医療の確保に重要な役割を果たしていることなど一定の基準を満たした自治体病院を、全国自治体病院協議会が推薦し、総務省が「経営の健全性」、「経営努力の状況」および「地域医療に果たしている役割」の観点から総合的に判断して決定するもので、昭和61年度に表彰が開始されて以来、千葉県内の自治体病院で表彰されたのは国保旭中央病院と当院だけだそうです。受賞できたのは、船橋市民の方々の絶大なご支援ならびに当院職員の弛まざる努力の賜物であると理解しており、皆様に感謝申し上げます。

医療をめぐる状況が厳しさを増す中、全国の自治体病院の約3分の2が赤字経営となっています。市民の健康をしっかりと守っていくためにも、健全な経営が維持できるよう今後も努力し続ける必要があります。

今回の受賞を励みに、またこれに驕ることなく、今後も職員一同、さらに信頼される病院を目指して精進してまいります。

### 目次

特集 消化器内科を紹介します……………	2～3	医療を学ぼう！ in 図書館／公開医療講座／お知らせ ……	6
自治体立優良病院総務大臣表彰／知事表彰／優秀演題賞…	4	救命救急センターの現場から／納涼会／心臓病教室／職員募集…	7
防災訓練／研修医のつばやき……………	5	外来担当医師一覧表……………	8

# 消化器内科を 紹介します

診療局長兼消化器内科部長 水本 英明

## 消化器内科って何をしているの？

消化器内科では、食道・胃・腸といった消化管の病気だけではなく、肝臓・胆道（胆嚢、胆管）・膵臓などといった多くの臓器の病気の診断・治療を担当しています。

内科というと薬を使用した治療をする診療科というイメージがあるかもしれませんが、実際には胃潰瘍や大腸憩室などからの消化管出血に対する内視鏡的止血術、早期の食道がん・胃がん・大腸がんなどに対する内視鏡的切除術、肝硬変などに伴う食道静脈瘤に対する内視鏡的結紮術（EVL）や内視鏡的硬化療法（EIS）、胃静脈瘤に対するバルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術（B-RTO）、肝臓がんに対する経皮的治療やカテーテルを用いた肝動脈化学塞栓術（TACE）、胆管胆石や閉塞性黄疸に対する内視鏡的十二指腸乳頭切開術（EPT）やドレナージ、肝膿瘍や胆嚢炎に対する経皮的ドレナージなど、内視鏡やカテーテルを用いた治療も行っています。



当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、消化器系のがん患者さんも数多く受診されています。患者さんの治療方針については各診療科内でのカンファレンスだけではなく、必要に応じて消化器内科、消化器外科、放射線治療科、臨床病理などの医師ならびに医師以外のスタッフも参加するカンサーボードで意見を交換しあいながら、詳細に検討したうえで決めるようにしています。

当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、消化器系のがん患者さんも数多く受診されています。患者さんの治療方針については各診療科内でのカンファレンスだけではなく、必要に応じて消化器内科、消化器外科、放射線治療科、臨床病理などの医師ならびに医師以外のスタッフも参加するカンサーボードで意見を交換しあいながら、詳細に検討したうえで決めるようにしています。



カンサーボード

## ピロリ菌と肝炎ウイルス…がんに関わる感染症

ここからは、消化器系のがんのいくつかについて少し詳しく述べてみようと思います。現在、2人に1人が生涯で何らかのがんに罹患すると言われていています。がん全体で罹患数が多いものは、大腸がん、胃がん、肺がん、乳がん、前立腺がんの順となり、性別では男性は胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、肝臓がん、女性は乳がん、大腸がん、胃がん、肺がん、子宮がんという順になっています。この結果を見ると、大腸、胃、肝臓といった消化器系のがんに罹患する方が比較的多いということが分かります。

このようながんに罹患する確率が誰でも同じかというとそうではありません。たとえば胃がんと肝臓がんの原因には感染症が大きく関与しています。胃がん患者さんの98～99%はピロリ菌に感染しており、ピロリ菌に感染したことがない方が胃がんに罹患する可能性は低いということが分かっています。肝臓がん患者さんの80～90%はB型あるいはC型肝炎ウイルスに感染しており、肝炎ウイルスに持続感染している場合には肝臓がんに罹患する可能性が高いということが明らかです。したがって、ピロリ菌が陽性の場合には内視鏡（胃カメラ）などによる胃がん検診を定期的に受けることをおすすめしますし、肝炎ウイルスが陽性の場合には早いうちに専門医に相談し、抗ウイルス療法について検討していただくのがよいということになります。



内視鏡検査室

## 胃がん検診を受けましょう！

日本では高齢者ほどピロリ菌への感染率は高くなっており、20代までは1割にも満たない感染率が50代以上ではいまだに3～4割を超えています。このような背景を踏まえて、船橋市では今年度から従来のバリウムによる胃がんX線検診に加えて、50歳以上の方では内視鏡による胃がん検診も選択できるようになりました。当院内視鏡による検診に参加しており、6名の内視鏡専門医あるいは消化器病専門医が検査を担当しています。これまで検診を受けたことがない方にもぜひ受診していただきたいと思います。

当院の消化器内科では4名の肝臓専門医を中心に肝炎ウイルスに対する治療も数多く行っています。従来はC型肝炎に対しては主にインターフェロンという注射薬による治療が行われていましたが、治療期間が長い上に副作用も多く、ウイルスの消失率も必ずしも高くはありませんでした。しかし現在では、飲み薬を3ヶ月間飲むことでウイルスの消失率が高く、副作用も少ない治療を行うことが可能となりました。B型肝炎に対しても有効な飲み薬が複数出現したことによりウイルスを減少させ肝炎を鎮静化させることができるようになってきました。

## ますます期待される低侵襲治療

このように、その原因や予防法が明らかになってきたがんもあり、早期発見により侵襲の少ない方法で治療が可能ながんも増えてきました。

胃がんや大腸がんは早期に診断ができた場合には、外科的手術ではなく内視鏡で治療することが増えてきました。当院においても早期胃がんや早期大腸がんに対する内視鏡的粘膜切除術（EMR）や内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を行っています。肝臓がんも小さなうちに診断ができれば、体の外から細い針を刺してがんを焼いてしまう経皮的ラジオ波焼灼療法（RFA）という方法で治療が可能な場合があります。



ラジオ波治療の様子

多くの合併症を持った高齢の患者さんが治療の対象となることが多くなった現在、より低侵襲で安全性の高い治療を提供していくことが当院の大切な役割のひとつであると考え、今後もこのような治療には積極的に取り組んでいきたいと考えています。



ラジオ波焼灼機

## 自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞しました

6月22日に自治体立優良病院の表彰式が行われ、当院が総務大臣表彰を受けました。

今回当院は、累積欠損金がなく、長年経常利益を計上している病院であり、また、救急医療をはじめ、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として地域医療に貢献しているとの評価を受けての受賞となりました。

この受賞は大変名誉なことであり、今後も安定的な経営の確保と医療の質の向上を図り、高度急性期病院としての役割を果たしていきます。



## 永江咲子看護師長が千葉県看護功労者知事表彰を受賞!!

7月26日に千葉県庁で行われた表彰式において、永江咲子看護師長が千葉県看護功労者知事表彰を受けました。

永江看護師長は「この度千葉県看護功労者知事表彰をいただきました。看護の世界を歩み始めて40年近く経ち、当院では開院とともに34年務めてきました。多くの患者さんやご家族との出会いがあり、看護は人生の学びの場でもあり、沢山のことを私に教えてくれました。そして、ここまで頑張れたのは多くの先輩、同僚、後輩の皆さん、そして家族の支え、協力があったからこそ、子育てをしながらでも仕事を続けることができたのだと感謝の気持ちでいっぱいです。これからも皆さんとともに当院がより地域の方々に信頼されるよう、より良い看護が提供できるよう後輩の育成に努めたいと思います。」と受賞の喜びと今後の抱負を語りました。



## 医事課の及川知子主事が優秀演題賞を受賞!!

7月7日～8日に行われた第19回日本医療マネジメント学会において、医事課の及川知子主事が優秀演題賞を受賞しました。

この受賞を受けて、及川主事は「多くの方々からのご指導、ご協力があり今回の賞をいただきました。学会では、DA（医師事務作業補助者）が診療科医師へ放射線検査読影レポート確認チェックを連絡する体制を構築したことにより、読影レポートの確認漏れによる医療事故を未然に防ぐことができしており、医療安全面においても非常に有用であるという内容を発表しました。当院での取り組みが学会で認められたことに誇りを感じるとともに、常日頃支えていただいている方々に心より感謝いたします。今回の受賞を励みに、DA一同、これからもより一層精力的に業務に取り組んでいきたいと思っております。」と語りました。



※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

8/27

# 防災訓練を実施しました



外来にてシェイクアウト訓練を実施

今年は災害拠点病院としての更なる機能強化を図るため、平日の午前9時、市内で震度6強の地震が発生したという想定で危機管理課、保健所、船橋市医師会等と連携し訓練を実施しました。

当日は院内に災害対策本部を設置し、その指揮のもと、協力病院や応急救護所から搬送された傷病者の受け入れ、トリアージセンターで重症度に応じた振り分け、迅速な処置及び院内搬送を行いました。

また、今年は院内にDMAT（災害派遣医療チーム）活動拠点本部を設置し、東葛南部保健医療圏の情報収集や支援DMATの受入準備、当院のDMATによる院外搬送などを行いました。

病院職員や看護専門学校の学生など約180名が今後起こりうる首都直下地震を意識して真剣に取り組みました。また、訓練を視察するため、山崎副市長、安藤危機管理監、船橋市医師会の方など、大勢の方々が訪れました。



エアーストレッチャーを使用した院内搬送



DMATによる院外搬送

## 研修医のつぶやき



初期臨床研修医 1年 野田成美

こんにちは！今年の4月より1年目の初期臨床研修医として勤務している野田と申します。

私たち初期臨床研修医は、夜間救急外来の一般患者さんの当直を担当しています。大まかな流れとしては、まず救急外来に来られた患者さんに症状や経過などを詳しく聞かせていただき、聴診、触診、視診といった、身体診察をさせていただきます。その後、その診察を踏まえた上で、血液検査やレントゲン検査など、追加すべき検査項目を考え、そのすべてを考慮して、考えられる疾患を検討していきます。

この一連の流れは、初期臨床研修医になる前までは「自分にも簡単にできる事だろう！」という甘い考えがあったのですが、医師になるために6

年間必死に勉学に励み、知識を増やしたつもりでも、実際に診察するようになってみると、勉学的な知識だけでは不十分であり、実際に医療を提供することの難しさを日々実感しています。

しかし、毎日苦戦しながらも、頼れる上級医の先生方への的確なアドバイスをいただき、同期や先輩に相談しつつ、少しでも患者さんの力になれるように頑張っています。まだまだ半人前で、患者さんにはご迷惑をおかけしてしまうこともあるかもしれませんが、私たち初期臨床研修医は、少しでも患者さんのお役に立てるように、日々精進していきます。どんな些細なことでも、気づいたことや、感じたことをいつでも私たちに教えてください。

一日でも早く一人前の医師になれるよう、これからも誠心誠意頑張りますので、どうぞよろしくお祈りします。

当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

# 医療を学ぼう！ in 図書館

当院と船橋市西図書館が連携して市民の皆さんへ医療に関する情報の提供を始めてから、10月で1年になります。医療情報コーナーには、より専門的な書籍を配置しており、さらに、自由にお持ち帰りいただけるがんの冊子等もご用意しています。また、毎月医師と医療スタッフによる医療講演会と医療相談会も開催していますので、ぜひご参加ください。身近な図書館で医療、健康を学びましょう。最近の講演会の様子をご紹介します。

## 第10回 7月 「男性の前立腺がん 女性の過活動膀胱のはなし」 泌尿器科 武田英男

前立腺がんと過活動膀胱は患者数が増えています。前立腺がん検診の勧めから治療について、また健康寿命を左右する過活動膀胱の治療などの話がありました。

## 第11回 8月 「ご存知ですか？帯状疱疹予防のためにできることがあります」 皮膚科 宮川健彦

帯状疱疹予防にワクチン接種の有効性が認められています。会場からの質問も多く、帯状疱疹に対する皆さんの関心の高さがうかがえました。

## 第12回 9月 「肺がん治療の最新情報」 腫瘍内科 平野 聡

肺がん治療は日進月歩で発展しています。新しい治療法として現在話題となっている、肺がんの薬物治療についてわかりやすい話がありました。



泌尿器科 武田英男副部長

## 今後の医療講演会予定 14:00～15:00 申し込み不要 当日先着50名

日 程	演 題	演 者
10月19日(木)	肺炎を予防しよう！	呼吸器内科 中村祐之
11月16日(木)	よくわかる糖尿病のはなし	代謝内科 岩岡秀明
12月 9日(土)	脳卒中のはなし	脳神経外科 内藤博道

※予定は変更する場合がありますので、広報ふなばしや西図書館HP等でご確認ください。  
講演会の後、申し込み制で相談会を行います。西図書館にお申込みください。

—お申込み先— 西図書館 船橋市西船1-20-50 TEL 047-431-4385

医療連携・患者支援センター 石川 晴子

## 第31回 公開医療講座



# 「心臓と血管の病気のおはなし～知っておくと安心？知らぬまに忍び寄る動脈硬化～」を開催しました



7月13日(木)に市民文化創造館(きららホール)にて、櫻井学心臓血管外科副部長を演者とした公開医療講座を開催しました。講演では、心臓や血管の疾患及びそれらを引き起こす動脈硬化の要因、病気の症状と診断方法、最新の手術治療法について、わかりやすく解説しました。胸部・腹部ステントグラフト指導医である櫻井副部長は、「心臓カテーテル治療やステントグラフト内挿術は従来の開胸・開腹手術より体への負担が少ないため、高齢者の方や合併症があり今まで手術が出来なかった方にも治療できる可能性があります。大切なことは一人ひとりに合った治療方法を見つけ、選択することです。」と語りました。

## 公開医療講座 次回のお知らせ

### 第32回 「花粉症のはなし～これまでの治療とこれからの治療、免疫療法について～」

日時 10月12日(木) 14:30～15:30 会場 市民文化創造館(きらら) 参加費 無料  
講師 木村 健太郎(耳鼻いんこう科医長) 定員 当日先着190人 問い合わせ 医事課

病院ボランティア(患者さんの案内や図書の整理など)を募集しています。詳しくは、医事課まで

## 救命救急センターの現場から ～全国版救急受診アプリ 愛称「Q助」～

救急患者さんは、医療側から分類すると大まかに一次（外来から帰宅可能）、二次（入院が必要）、三次（すぐに治療を開始しないと命に関わる疾患）となります。ただ患者さん自身が自分の病気が一次なのか二次なのか三次なのかを判断することは、なかなか出来ることではありません。病院を歩いて受診する患者さんの中にも三次の患者さんはいますし、救急車で来院しても一次に該当する患者さんがいるのも事実です。

こんな時、ご家族やお子さんの今の状態はどういう状態なのかをわかりやすく判断することが出来る全国版救急受診アプリ 愛称「Q助」が総務省消防庁から提供されました。スマホ版はApple StoreやGoogle Playから、Web版は総務省消防庁のHPから無料でダウンロード出来ますので、困ったときはぜひ利用されると良いでしょう。Q助と入力してみてください。このアプリは該当する症状を画面上で選択していくと緊急度に応じた対応「今すぐ救急車を呼びましょう」ができるだけ

早目に医療機関を受診しましょう「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」「引き続き注意して様子を見て下さい」が表示されるようになっていきます。聞かれる症状もかなり具体的で細かい所まで聞いて来ますので、安心して使用していただけると思います。

救急車の台数も各地域で限られていますので、こんなアプリを使用することによってより適切な救急車利用に繋がり、何より時機を逸せず患者さんが病院に行かれることを願うばかりです。



出典：総務省消防庁ホームページ  
(<http://www.fdma.go.jp/>)

救命救急センター長 境田 康二

毎年  
恒例!

## 納涼会で親睦を深めました

7月13日（木）に今年で5回目の納涼会を行いました。地域の先生方や医療従事者の方々、当院の医師及びその他職員の総勢125名が参加し、大変盛況なものとなりました。

納涼会では日頃から当院の運営にご協力いただいている地域の先生方に対し、鈴木病院事業管理者から感謝のあいさつ、また、丸山院長から院長就任のあいさつがあり、続いて、染谷整形外科副部長が「腰椎椎間板ヘルニアに対する経皮的随核摘出術ー最新の内視鏡的治療法ー」と題した講演を行いました。

その後の懇親会は、和気藹々とした雰囲気の中、当院の職員と地域の先生方が意見交換を行い、明るく、楽しい、文字通り「顔が見える地域医療連携」の貴重な場となりました。途中、当院の診療科等の紹介、地域の先生方からのご意見等の開陳が行われ、最後は玉元船橋市医師会長の閉会のご挨拶にて無事お開きとなりました。来年も多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

医療連携・患者支援センター副センター長 泉 肇



## 心臓病教室のお知らせ

日程	演 題
10/26 (木)	①危険な不整脈とは ②そうだったのか！心臓病の薬～アスピリンってピリン系？～
11/2 (木)	①心筋梗塞を予防する ②おいしく減塩！はじめませんか？
12/21 (木)	①あしの動脈硬化のおはなし～あるけるって、すばらしい！～ ②自宅で出来るセルフケア

時間 13:30～14:30 会場 D館3階講義室 参加費 無料  
講師 当院スタッフ（医師、看護師ほか） 問い合わせ 医事課

## 平成29年度 募集概要

### 看護補助者（パート） クラーク（パート）募集

- 資格／特になし
- 時給／1,040円（看護補助者）  
900円（クラーク）

※詳細は当院ホームページ (<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>) をご覧ください。

船橋市立医療センター 電話番号 047-438-3321(代)

# 外来担当医師一覧表

平成29年10月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新患	[交替医]	中村(俊)/鹿野	下山 立志	多部田弘士	巴山紀子・廣石拓真	新患の(火)は第1・3・5中村(俊)、第2・4鹿野 消化器の(月)は第2・4・5 水本、第1・3関 消化器の※1は午前 ※2は午後 消化器の下段は原則、消化器内科からの予約患者のみ
	呼吸器	中村 祐之 藤田 哲雄	天野 寛之 中村 純	廣石拓真(交替医) 巴山 紀子	中村 祐之 中村 純	鹿野 幸平 天野 寛之	
	消化器	水本英明・関 厚佳 東郷聖子 <sup>※1</sup> /金子達哉 <sup>※2</sup>	安藤 健 関 厚佳	東郷 聖子 安藤 健 <sup>※1</sup> /石垣飛鳥 <sup>※2</sup>	金子 達哉 水本 英明	石垣 飛鳥 小林 照宗	
	代謝	岩岡 秀明	下山 立志	中村 俊介	下山 立志	岩岡 秀明	
	腫瘍			平野 聡		平野 聡	
心臓血管センター	循環器科 予約	内山 貴史 稲垣 雅行	福澤 茂・黒岩信行 沖野 晋一	岩田 曜 稲垣雅行・内山貴史	黒岩 信行	福澤 茂	※(火)は第1・3・5稲垣、第2・4内山
	循環器科 新患	石橋 健太	[交替医]	[交替医]	関根有希子	[交替医]	
	心臓血管外科	[手術日]	高原善治・茂木健司	[手術日]		[手術日]	午後1時30分から ※第2 高原 ※第1・3・4・5 茂木
緩和ケア内科				[交替医]	[交替医]		午前9:00~ 予約患者のみ
精神科	新患		宇田川雅彦	宇田川雅彦	榎原 雅代		新患は事前予約が必要 (電話も可)
	再来	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦 榎原雅代		
小児科		高橋 香 伊賀 裕子	佐藤 純一 内山 薫	丹羽 淳子 斉藤 裕子	木谷 豊 竹本 直輝	伊賀 裕子 坂井 美穂	
外科	消化器・一般	宮崎 彰成 吉岡 隆文	夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 野手 洋雅	田中 元 貝沼 修	宮崎 彰成 松本 泰典	(月)松崎・青柳が隔週 (午前のみ)
	乳腺	松崎弘志・青柳智義	吉原ちさと	松崎 弘志 青柳 智義		松崎 弘志 青柳 智義	(火)丸山 午前のみ (水)吉原 午後のみ
	新患	玉貫 圭甲	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	
整形外科	[交替医] 秋本 浩二 [手術日]	池之上純男 高瀬 完 染谷 幸男	三村 雅也 鮫田 寛明 新保 純	[交替医] [手術日]	[交替医] [手術日]	[交替医] [手術日]	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)
形成外科	[手術日]	薬丸 洋秋	薬丸 洋秋	[手術日]	[手術日]	渡邊 浩志	
脳神経外科	内藤 博道 新美 淳 根本 文夫	[交替医] [手術日]	畑山 和己 内藤 博道	安間芳秀/交替医 [交替医] [手術日]	根本 文夫 畑山 和己		(月)根本、(火)内藤、(金)畑山は、 新患者のみ (木)安間は第1・3・5、 第2・4は交替医
呼吸器外科	一ノ瀬修二 荒牧 直	一ノ瀬修二 荒牧 直	[手術日]	一ノ瀬修二 木下孔明・荒牧 直	[手術日]		
皮膚科	栗田 遼二 井関 梢	栗田 遼二 井関 梢 宮川 健彦	栗田 遼二 井関 梢	栗田 遼二 井関 梢 宮川 健彦	栗田 遼二 井関 梢		
泌尿器科	武田 英男 黄 和吉	佐藤 信夫 齋藤 心平	佐藤 信夫 [手術日]	佐藤 信夫 安藤 敬佑	佐藤 信夫 川端 慧		
産婦人科	斉藤 俊雄 佐々木直樹	大村 涼子 名古ゆり恵	斉藤 俊雄 [交替医] [手術日]	名古ゆり恵 [交替医]	佐々木直樹 鈴木由梨奈		
眼科	小林 悠里 谷口 有子	松枝 美文 [手術日]	上原 七生 松枝 美文	小林 悠里 小林 晋二	小林 晋二 谷口 有子	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)	
耳鼻いんこう科	小林 皇一 兼坂 寛子	[手術日]	小林 皇一 兼坂 寛子	[交替医] 派遣医師 [手術日]	小林 皇一 木村健太郎		
放射線治療科	有賀 隆	有賀 隆	岩井 祐磨	小池 直義	有賀 隆	完全予約制	
麻酔科	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	午前9:00~11:00 予約患者のみ	
歯科口腔外科	村野 彰行	喜田 晶洋	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行		
特殊外来	女性専用(内科)			古池 織恵			予約患者のみ
	腎臓内科(内科)			梶原麻美子			午後1:30~ 予約患者のみ(電話も可)
	神経内科(内科)			能勢裕里江			午後1:30~ 予約患者のみ(電話も可)
	ステントグラフト外来(心外)		櫻井 学				午後1:30~
	ペースメーカー外来			[交替医]			午後1:00~
	小児循環器(小児)	佐藤 純一 斉藤裕子・竹本直輝	村社 歩美	佐藤 純一			午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経(小児)				高梨潤一・牧野道子		午後 予約患者のみ 月1回
	小児腎臓(小児)				秋岡 祐子		午後 予約患者のみ 月2回
	小児アレルギー(小児)					下条 直樹	月1回 午前9:00~予約患者のみ
小児外科(外科)				小松 秀吾		午前のみ(午後手術)	
脳神経内科(脳神経外科)					東 美和	午前9:30~ 予約患者のみ	

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓、小児アレルギーの予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。